

高知県名誉県民顕彰記念行事

本日の講演会以外にも、以下の記念行事を行っています。
オーテピアにお越しの際はぜひご覧ください。

プラネタリウム記念投映

と き 令和4年7月12日（火）～7月31日（日）
※7月25日（月）は休館日のため、投映はありません
※各日の投映時間は、高知みらい科学館にお問い合わせください
ところ 高知みらい科学館プラネタリウム
観覧料 有料 ※通常の観覧料金になります。事前申込みは不要です。

関勉氏の功績の紹介や、池谷・関彗星、命名した小惑星の解説などについて新たに編集したプラネタリウム特別プログラムを記念投映します。

問合せ先 高知みらい科学館
高知市追手筋2丁目1-1 オーテピア5階 TEL 088-823-7767

関勉氏の著作等の特別展示

と き 令和4年8月13日（土）～9月30日（金）
ところ オーテピア高知図書館 3階 展示の本棚

関勉氏のこれまでの著書や、彗星発見にまつわる劇画、芸西天文学習館に望遠鏡を寄贈いただいた五藤齊三氏のエピソードが掲載されているやなせたかし氏の著書などを展示します。
料金や事前申込みは不要です。お気軽にご覧いただけます。

問合せ先 オーテピア高知図書館
高知市追手筋2丁目1-1 TEL 088-823-4946

関勉氏高知県名誉県民顕彰記念行事全般に関する問合せ先

高知県教育委員会事務局生涯学習課
高知市丸の内1丁目7-52 TEL 088-821-4745
受付時間 平日8:30～17:15 ※土・日・祝日・年末年始は休み

関勉氏高知県名誉県民顕彰記念講演会

星をみつめて半世紀
～それはこわれた眼鏡と空き缶から始まった～

プログラム

14:00 開会

14:10～15:00 関勉氏講演

15:00～15:10 関勉氏への質問コーナー

(15:10～15:20 休憩)

15:20～16:00 関勉氏を囲んで～三人の鼎談～

アマチュア天文家 門田健一氏
高知みらい科学館館長 高橋信裕氏

と き 令和4年7月18日（月・海の日）14:00～16:00

ところ オーテピア4階 研修室・集会室

主 催 高知県教育委員会（担当：生涯学習課）

関勉氏講演

星をみつめて半世紀

～それはこわれた眼鏡と空き缶から始まった～



関勉氏は1930年（昭和5年）に高知市に生まれ、これまでに6つの新彗星、223の小惑星を発見されており、日本天文学会やフランス天文学会等から表彰を受けている世界有数の天文家です。

また、高知県立芸西天文学習館で40年以上、子どもから大人まで幅広い世代の指導に携わってこられました。

こうした長年の活動が評価され、令和3年に文部科学大臣表彰（社会教育功労者）を、そして、令和4年5月に高知県名誉県民を受けられました。

今回は高知県名誉県民顕彰記念行事として、関氏の半世紀にわたる彗星観測のお話などをご講演いただきます。

関勉氏の略歴

昭和25年 4月	東亜天文学会に入会
31年10月 6日	クロムメリン彗星発見
36年10月11日	関彗星発見
37年 2月 4日	関・ラインズ彗星発見
37年 3月15日	東亜天文学会より天体発見賞を受賞
37年 5月	日本天文学会より天体発見賞を受賞
39年 1月15日	四国文化賞を受賞（高知新聞社）
40年 9月19日	池谷・関彗星発見
41年11月 3日	高知県文化賞を受賞（高知県）
42年 2月 4日	第二関彗星発見
42年12月19日	第二池谷・関彗星発見
45年 8月	アメリカ太平洋天文学会よりコメットメダルを授与
45年10月20日	鈴木・佐藤・関彗星発見
48年10月	天体観測所を芸西村（高知県）に移転
49年 2月 2日	著書「星のかりゅうど」が第18回高知県出版文化賞を受賞（高知県文教協会）
51年 5月20日	神田茂記念賞を受賞（日本天文学会）
56年 2月 9日	芸西観測所で初の小惑星2個を発見。「五藤」、「高知」と命名
56年 4月 1日	県立芸西天文学習館発足。同館講師となる。（現在に至る。）
59年 9月	芸西天文台で日本最初のハレー彗星の観測に成功
62年 6月20日	フランス天文学会100周年記念賞を受賞
62年11月13日	地方自治等功労者表彰（教育関係部門）を受賞（高知県）
平成 4年 5月	周期彗星検出功労賞を受賞（日本天文学会）
7年 9月17日	東亜天文学会賞を受賞（東亜天文学会）
7年 9月18日	デビコ彗星発見
8年 2月17日	著書「ホウキ星が呼んでいる」が第15回寺田寅彦記念賞を受賞（高知県文教協会）
8年 5月	59個目に発見した小惑星6514に、寺田寅彦博士を記念し、「寅彦」と命名
16年 8月21日	星空の街・あおぞらの街全国協議会「すばる賞(会長特別賞)」を受賞
22年	東亜天文学会の会長に就任（第9代）（同24年まで）
25年	東亜天文学会（特定非営利活動法人）の顧問に就任（現在に至る。）
令和 3年11月 5日	社会教育功労者表彰（文部科学大臣表彰）を受賞
令和 4年 5月12日	高知県名誉県民を受賞



関勉氏を囲んで

～三人の鼎談～

アマチュア天文家の門田健一氏と、高知みらい科学館館長高橋信裕氏をお迎えし、関勉氏を囲んで三人で語っていただきます。
彗星観測にまつわる興味深いお話などをお楽しみください。

門田健一氏の略歴

- 1961年（昭和36年）高知県高知市生まれ。
- アマチュア天文家として埼玉県で四半世紀ほど前から観測を継続。彗星の観測数は日本国内トップで、新天体の確認作業にも対応し長年に渡って世界の発見・観測をサポートしている。
- 公益社団法人日本天文学会より、2001年（平成13年）に天体発見功労賞を、2010年（平成22年）に天文功労賞を受賞するなど、精力的に活動されている。
- 関氏とは、門田氏が中学生の時に出会い、現在まで交流がある。

高橋信裕氏の略歴

- 1948年（昭和23年）高知県宿毛市生まれ。
- 高知中、高知高校を経て慶應義塾大学に入学。高知高校では、関氏の後輩にあたる。
- 大学卒業後は、文化・観光施設の計画・建設・運営を行う企業・乃村工芸社に就職、その後設立されたシンクタンク・文化環境研究所所長に就任。
- 同研究所長の傍ら、慶應義塾大学、早稲田大学、法政大学大学院、國學院大學大学院、北海道教育大学、大阪樟蔭女子大学等の非常勤講師を務める。
- 2013年（平成25年）同研究所を定年退職後、2016年（平成28年）3月まで水戸の常磐大学コミュニティ振興学部教授に就任。博物館経営論、地域振興論、展示学等に携わる。
- 常磐大学退職後、2017年（平成29年）11月より高知みらい科学館館長に就任、現在に至る。

～メモ～